

留学生別科長あいさつ

留学生別科長 小林 孝郎



拓殖大学留学生別科は、東京のほぼ中心の文京区にあります。東京駅からメロで10分、新宿駅から15分、池袋駅から5分で拓殖大学のある茗荷谷駅に着きます。とても便利なところにあります。

留学生別科は、拓殖大学の中に設置されている日本語の学校です。歴史は古く、今から43年前、1972(昭和47)年に開設されました。現在までにこの学校で日本語を勉強していった人は、4,000人を越えます。修了生のある人は拓殖大学へ進学し、またある人は他の大学や国内外の大学院に進学して行きました。

しかし最近では、留学生のニーズや目的が変化してきていて、いろいろな勉強方法が必要になってきています。そのため、拓殖大学留学生別科では、現在日本語の授業にもいろいろな新しい方法を取り入れています。特に、非漢字圏の学習者への漢字授業の特別枠や、大学院進学に目標を据えたコースを用意しているほか、日本語能力試験の各レベルの合格に照準を合わせたコースも設けています。

また、あらゆる進路への受験に対応できるよう、「日本事情」「地理・歴史」「現代社会」などの文系科目、「数学」「物理」「生物」「化学」などの理系科目、それに留学生それぞれのレベルに合った「英語」の受験準備もできるように、カリキュラムが編成されています。これはもともと留学生別科が、「外国人留学生で大学における講義を理解」できるように、「日本語および大学の授業に必要な学教科目の予備教育を行う」ことを目的にかけつけていたからで、現在までに数多くの実績を積み上げてきました。このため、留学生別科の授業は、かなりハードなスケジュールです。日本語(必修科目)の授業だけでも1つの授業は90分で、1週間に15回の授業があります。つまり、毎日の勉強には、集中力が大切です。

しかし、留学生生活は、朝から晩まで勉強だけで終わってしまうわけではありません。毎週1回のクラスホームルームの時間は、担当の教員と生活や進路・将来の希望などについて相談ができます。また、ボランティアの「学生交流支援会」の学生たちが、みなさんの学生生活をサポートします。ボランティア学生と一緒に活動する1年間の留学生別科行事には、リクリエーション活動や、旅行などもありますし、スピーチコンテストのような日本語の催しもあります。

留学生別科は、春入学(4月)と秋入学(9月)の2回、入学の機会があります。

留学生別科へ入学して勉強したあとは、拓殖大学への推薦入学制度があります。また、学力が認められた人には学部3年生あるいは2年生への編入学制度もあります。もちろん拓殖大学大学院の受験も可能です。

学業優秀者に対しては、「拓殖大学留学生別科奨学金」「文科省外国人留学生学習奨励費」「高山国際教育財団奨学金」などの奨学金制度もあります。

みなさんの将来への希望が実現するように、みなさんと一緒に学べる日を楽しみにしています。拓殖大学留学生別科の教職員は、全員で、みなさんの毎日の学生生活を応援して行きたいと思えます。